

BECC JAPAN 2018 口頭発表者の皆様へ

BECC JAPAN 2018 開催にあたり、下記の通りご案内いたします。
お手数をお掛けいたしますが、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

1. 会場へのアクセス

一橋大学一橋講堂および会議場(2階)へのアクセスにつきましては、P3~4の地図等をご覧ください。

2. 入館について

入館に際しましては、1階入口にて警備の方へBECC JAPAN 2018 の参加票もしくは本人確認書類(所属機関のIDなど)のご提示をお願い致します。BECC JAPAN 2018 の参加票は、参加申込みフォームよりお申込みの方に参加費ご入金後お送りしております。

3. 本会議当日朝の受付および開会について

受付は、一橋大学一橋講堂 2F のホワイエに設置いたします受付テーブルにて行います。

開場は、午前9時30分、開会は 10時です。

受付用カウンターにてメール配信させていただきました参加票をご提示いただき、名札をお受け取り下さい。本会議翌日の施設見学会に参加予定の方につきましては、受付時にあらためて出欠の確認をさせていただきます。

4. 発表資料について

当日、各セッション会場にはノート PC、プロジェクタを用意しております。発表用の資料データは当日各自 USB メモリー等でご持参いただき、基調講演終了後(11時30分)から会場内ホワイエに控えております事務局担当者にお渡しください。

PC をご持参いただいた場合は、事務局で用意しました USB メモリーにコピーさせていただきます。

なお、会場での資料の印刷・コピーはできませんのであらかじめご了承ください。

5. 発表資料の公開について

会議終了後に改めまして発表資料の最終版を WEB サイトに公開させていただきたいと思っております。ただし、①各発表者は発表資料の公表・非公表を選択可能であること、②公表資料は会議当日の発表資料と一部異なるものでも構わないとすること、を前提といたします。会議終了後にあらためてご案内させていただきます。

6. セッション会場への移動と発表時間厳守のお願い

口頭発表、ライトニングセッションは、一橋講堂と同じフロアー(2F)の中会議場(A会場、B会場)でおこないます。ポスターセッション会場は1Fの特別会議室で行います。

セッション会場、セッション開始時間等をあらかじめご確認いただき、速やかな会場間移動と発表準備をお願いいたします。また、発表時間につきましても時間厳守にご協力いただき、所定の時間内でご発表

いただけますようお願いいたします。

発表時間は 20 分、質疑応答時間は 5 分でございます。なお、発表時間につきましては、終了時間 3 分前と終了時、質疑応答終了時にベルを鳴らします。

皆様には、大変お忙しいタイムスケジュールでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、会議のスムーズな進行にご協力賜りますようお願いいたします。

7. ランチについて

一橋大学一橋講堂建物内および近隣のレストラン等をご利用ください。

午後のセッションの発表者の皆様につきましては、早めに会場にお集まりいただけますようお願いいたします。

8. 交流会について

交流会(立食パーティー形式)は、18時20分～19時30分となっております。交流会に参加される方は本会議終了後、1階の特別会議室へのご移動をお願いいたします。

9. 当日の緊急時等連絡先

・事務局連絡先

齋藤:090-9150-9339、jyukankyo@docomo.ne.jp

以上

気候変動・省エネルギー行動会議 事務局
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29
紀尾井町アークビル 3 階 (株)住環境計画研究所内
担当: 齋藤・中村
Tel 03-3234-1177 / Email: info@seeb.jp

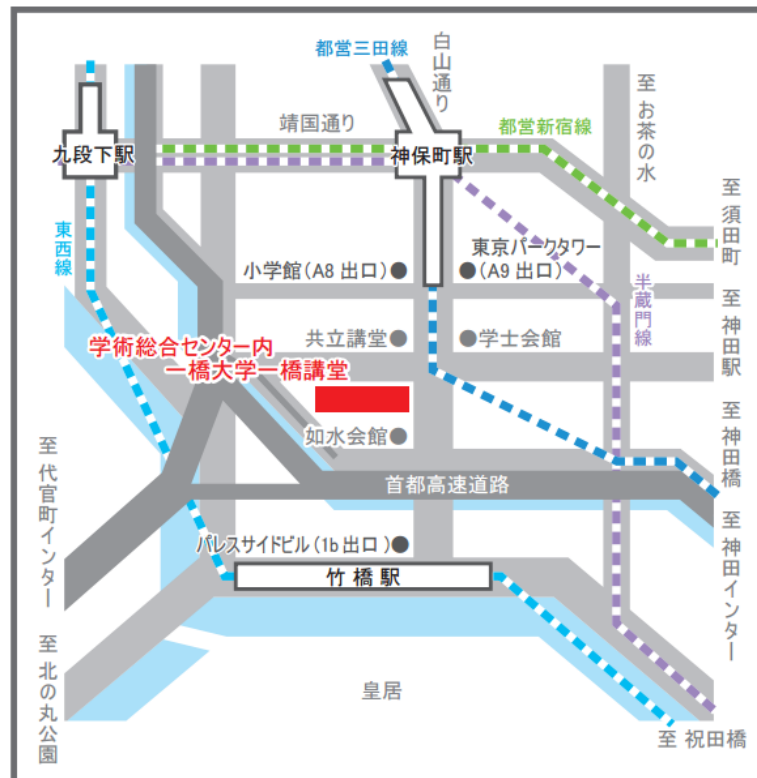
【会場へのアクセス】

一橋大学一橋講堂 (http://www.hit-u.ac.jp/hall/file/menu-016/file_01.pdf)

2階（一橋講堂、中会議場）、1階（特別会議室）

〒101-8439東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター内

【TEL】 03-4212-3900



【全体スケジュール】

[本会議] 2018年8月23日(木) 於：一橋大学一橋講堂

時間	プログラム	
9:30~10:00	受付開始	
10:00~10:05	開会挨拶(一橋講堂)	
10:05~10:20	来賓挨拶(一橋講堂)	
10:20~11:30 (70分)	基調講演(一橋講堂)	
11:30~12:20	ランチ休憩(各自)	
12:20~13:10 (50分)	口頭発表セッション1AB(中会議場1~4) ホームエネルギーレポートによる省エネルギー効果検証 ※18分/発表×2件+質疑応答14分	
13:10~13:15	休憩	
13:15~14:05 (50分)	口頭発表セッション2AB(中会議場1~4) 省エネルギー・環境教育 ※18分/発表×2件+質疑応答14分	
14:05~14:10	休憩	
14:10~14:50 (40分)	ポスター発表セッション(1F特別会議室101、102)	
14:50~14:55	休憩	
14:55~16:10 (75分)	口頭発表セッション3A (中会議場3、4) 省エネルギー行動を 誘発する情報提供 ※25分/発表×3件	口頭発表セッション3B (中会議場1、2) HEMS・スマートメータのデータ活用 ※25分/発表×3件
16:10~16:20	休憩	
16:20~17:10 (50分)	ライトニングセッション4A (中会議場3、4) フィールドにおける効果検証 ※12分/発表×4件	ライトニングセッション4B (中会議場1、2) 省エネルギー型設備機器の選択や 省エネルギー行動の規定要因 ※12分/発表×4件
17:10~17:15	休憩	
17:15~18:05 (50分)	口頭発表セッション5A (中会議場3、4) 住宅リフォーム、 省エネルギー型設備機器の普及 ※25分/発表×2件	口頭発表セッション5B (中会議場1、2) エネルギー情報提供サービス ※25分/発表×2件
18:20~19:30 (80分)	交流会(1F特別会議室)	

[施設見学会] 2018年8月24日(金) 於：柏の葉スマートシティ

時間	プログラム
10:00~12:00	見学会

【詳細スケジュール】

(1)口頭発表セッション

1AB	ホームエネルギーレポートによる省エネ効果検証
	マレーシアやインドにおけるナッジ型省エネ事業の可能性と課題 －Issues and Potential for Large-Scale Behavioral Energy Efficiency Programs in Developing Countries－ ヘイグ ケン （日本オラクル株式会社）
	ホームエネルギーレポートによる省エネ効果の地域性・持続性に関する実証研究 －初年度の省エネ効果と省エネ意識・行動の変化－ 平山 翔 （株式会社住環境計画研究所）
2AB	省エネ・環境教育
	学校における省エネ教育による行動変容の可能性 ～中高生を対象としたプログラム開発及び試行的実証～ 三神 彩子 （東京ガス株式会社）
	省エネ行動の説得的コミュニケーションにおける経済的地位の影響 杉浦 淳吉 （慶應義塾大学）
3A	省エネ行動を誘発する情報提供
	書画カメラとテレビ、小学校の備品を使ったエネルギー環境教育の実践報告 岡崎 朱実 （北海道グリーンファンド）
	消費者の選好した情報提供による省エネルギー効果 大塚 彩美 （横浜国立大学大学院）
	暖房制御と見える化システムを備えた省エネサポートシステムの開発 －システム導入による省エネルギー効果と暖房の使い方の変化－ ユウ ローリン （株式会社住環境計画研究所）
3B	HEMS・スマートメータのデータ活用
	HEMS データを活用した家庭用エネルギー診断の累積効果 八木田 克英 （東京大学生産技術研究所）
	新築戸建住宅を対象とした省エネルギーアドバイスの実証研究 －ナッジ仮説と初期検証－ 岩松 俊哉 （電力中央研究所）
	スマートメータ版ホームエナジーレポートの実証研究 －ナッジ仮説と初期検証－ 向井 登志広 （電力中央研究所）

5A	住宅リフォーム、省エネ型設備機器の普及
	戸建住宅の断熱リフォームの普及促進に向けた調査研究 前 真之 （東京大学大学院）
	環境配慮行動の実践度と省エネ型機器購買選択における意思決定に関する研究 天野 晴子 （日本女子大学）

5B	エネルギー情報提供サービス
	スマメータによる需要予測を活用した事業所向け最大需要電力抑制アラートのサービス化に向けて 小松 秀徳 （電力中央研究所）
	スマートフォンを活用した家庭向け省エネサービスの実証研究 ーナッジ仮説と初期検証ー 西尾 健一郎 （電力中央研究所）

(2)ライトニングセッション

4A	フィールドにおける効果検証
	スマートフォンアプリを活用したエコドライブサービスの実証研究 －エコドライブ評価手法の構築とナッジ等を活用したエコドライブ促進アドバイスの検討について－ 大我 さやか （デロイトトーマツコンサルティング合同会社）
	簡易な情報提示による省エネルギー行動誘発 －色彩心理、認知心理を応用してビジネスホテル宿泊客の省エネ行動を誘発する－ 糸井川 高穂 （宇都宮大学）
	大学における省エネ教育プログラムの効果検証 赤石 記子 （東京家政大学）
	家庭における親子の省エネルギー意識・行動の定着に関する研究 その2 －目標提示と振り返りによる意識・行動への影響－ 高田 宏 （広島大学大学院）

4B	省エネ型設備機器の選択や省エネ行動の規定要因
	機能別HEMS需要関数測定結果の日米比較 鷺津 明由 （早稲田大学）
	EBPM による環境配慮行動習慣化に関する研究 船木 里菜 （早稲田大学）
	ECサイトにおける省エネ情報の効果的な表示方法に関する検討 小野 裕明 （経済産業省資源エネルギー庁）
	電子チラシサービスによる家族世帯向け省エネ情報発信の実証実験 玄 姫 （株式会社住環境計画研究所）

(3)ポスター発表セッション

1	クールスペースの利用実態調査と利用促進手法の検討 池山 佳幸 (九州大学大学院)
2	電気代明細書を省エネ行動誘発に活かす 鈴木 彩花 (宇都宮大学)
3	電力契約の変更行動に関する研究 天羽 伸二 (東京工業大学)
4	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 ー「東急グループで取り組む省 CO2 推進プロジェクト」の全体概要ー 吉田 一居 (株式会社 東急不動産 R&D センター)
5	家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 :一般集合住宅と燃料電池を設置した集合住宅におけるエネルギー消費に関する研究 坊垣 和明 (東京都市大学)
6	CFD によるリフォーム前後の室内温熱環境の検証及び快適性の評価 中村 遼 (東京大学大学院)
7	省エネ行動を中心としたナッジの活用方法に関する最新動向とその考察 伊原 克将 (デロイトトーマツコンサルティング合同会社)
8	集合住宅の共用部中間領域での交流イベントにおける行動と省エネ効果 加茂 みどり (大阪ガス株式会社)
9	大学新入生向け省エネ家電購入促進実証実験 ー家電セットチラシにおけるデフォルト効果の検証ー 小林 翼 (株式会社住環境計画研究所)
10	夏季・冬季の空調利用の変化が睡眠に及ぼす影響 ー実生活場面における空調利用に関する介入調査ー 浅倉 弘堯 (慶應義塾大学)
11	IoT センサによる行動観察とインタビューによる省エネ行動阻害要因の抽出 三浦 輝久 (電力中央研究所)
12	照明の LED 化は家計の電力消費量をどれくらい削減しているのか? 尾沼 広基 (早稲田大学)
13	電力消費に関する比較情報が与える電力消費行動への影響 森谷 孟史 (東京工業大学)